



みはらふくし情報

2月号

令和3(2021)年
2月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター)電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター)電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

全国的に新型コロナウイルス感染者が急増する中、首都圏では、「緊急事態宣言」が発令されています。1月28日現在、広島県の感染状況レベルはレベルⅡであり、一律的に活動の自粛を要請する状況ではないものの、サロン活動を自粛する地域が増え、再び住民同士の集う機会が減っています。

つきましては、出来る範囲で「つながり合う取り組み」をすすめていただき、気になる方がいる場合は、社協まで連絡をしていただきますよう、改めてお願い致します。

今号は、久井地域の見守り活動と、本郷地域のサロンの声掛け活動を紹介します。活動に関する不安や疑問があれば、お気軽にご相談下さい。

「集まれなくてもつながり合おう！」取り組み一例

気に掛け合う (声掛けや安否確認など)



励まし合う (電話や手紙など)



連携する (民生委員へ相談、困りごと連絡票の活用など)



助け合う (ゴミ出しや電球交換など)



取り組みした地域の方より

- ◆ 支援者で分担して参加者に電話を掛けています。「声を聞くと元気が出る」、「早くサロンで会いたいね」と話になります。一人暮らしの方は特に心細いのだと感じます。
- ◆ サロン参加者に認知症の進行が心配な方がいて、困りごと連絡票を使って社協に相談しました。その後、福祉専門職も一緒に訪問して様子を見てくれて、心強かったです。
- ◆ 日常的に気にかけている高齢者から「電球が切れて困っている」と相談を受けました。息子さんも遠方で帰れないので、電球を買って来て交換してあげました。とても喜んでいました。

つながいを絶やさない！見守り活動

～気に掛け合う大切さ～

久井地域センター

見守り活動は、概ね自治会・町内会を範囲に、従来のご近所付き合いを活かして、地域の「心配な人」を見守る住民主体の福祉活動です。見守りを希望した方に対して、ボランティア（福祉推進員・見守りサポーター）や、民生委員、社協などの福祉専門職が連携して気にかけており、コロナ禍でも活動は途絶えずに展開されています。

また、見守り連絡会議を開催し、活動を振り返り、情報共有がなされることで、住民同士の安心感や福祉専門職へスムーズに連携することができ、地域全体の安心感にもつながります。

社協では、今後の感染拡大にかかる影響を考え、見守り活動関係者に「困りごと連絡票（写真右）」をお渡ししました。「つながりを絶やさない！」を合言葉に、地域住民と一緒に歩んでいきます。



ときどきサポーターさんが窓越しに手を振ってくれるんだ。元気をもらっているよ！



感染症に気を付ける人は増えたけど、人と話す機会が減って、孤独を感じている人がいるね・・・

困りごと連絡票（新型コロナウイルス感染症に関すること）

対象者の体調や生活状況の変化に気づいたり、対象者から相談を受けた場合は、お手数ですが、この連絡票を活用して、市社協まで連絡をお願いします。
特に気づきや相談がない場合は、連絡の必要はありません。

活動名（見守り実施地区名： _____）
あなた（氏名： _____） 電話番号： _____

1. 困っている方の様子や気になることなどを分かる範囲で記入して下さい。

困りごとのある人の氏名	気になること・困りごと（下記の番号でご記入ください）

① 体調面に不安がある
② 一人での時間が長く、不安になることがある
③ 通院することができず困っている
④ 買い物に行くことが出来ず困っている
⑤ 情報が不足している（コロナウイルス・保健・福祉トレ）
⑥ その他

※ 記入された内容は、目録以外には使用いたしません。
※ 記入された内容を連絡するために、社協から問い合わせることがあります。

サロン活動以外でつながろう！

～本郷地区城山サロンの取り組み～

本郷地域センター

本郷地区城山町内会の「城山サロン」は、コロナ禍で、回数や内容を縮小するなどして何とか活動を続けていましたが、三原市内で感染者が多く出たことを受け、1月から1ヶ月間自粛することを決めました。

そんな中でも、支援者は、サロンの日程やコロナの情報を含めた簡単な広報誌（写真右上）を作成し、参加者の家を訪問する取り組みをしています。また、「移動スーパーとくし丸（移動販売車）」で集まる機会を利用して、訪問だけでは様子が分からなかった参加者の体調を確認しています。集まれなくても、ちょっとした工夫や少しの意識で、お互いに無理なく気に掛け合うことができているようです。

～広報誌を届ける訪問活動～



～移動スーパーとくし丸も見守りの機会に～

